

スポーツ現場実習Ⅳ

科目ナンバリング SPS-409
選択 1単位

本郷 仁吾・佐保 泰明

1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。

特にこの授業では、実習現場で、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切に取れているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているか、ATの役割を理解し、それに準じた知識や技術を身につけているかを中心に評価し、各論では主にアスレティックリハビリテーションの実習を行い、現場での活動等の発表を行う。

※2年次のスポーツ現場実習Ⅰを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

- ・担当教員に対して、報告、連絡、相談が適切にできる(自分の意見も踏まえたうえで)
- ・スポーツ外傷の知識を習得し、適切な評価を行える
- ・適切な評価のもと、アスレティックリハビリテーションを作成できる
- ・アスレティックリハビリテーションを実践することができる
- ・現場での活動等を適切に発表できる

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(40%) レポート(40%) 報告会発表(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

日本スポーツ協会アスレティックトレーナー専門科目テキスト①「アスレティックトレーナーの役割」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②「運動器の解剖と機能」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③「スポーツ外傷・障害の基礎知識」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④「健康管理とスポーツ医学」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤「検査・測定と評価」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥「予防とコンディショニング」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦「アスレティックリハビリテーション」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧「救急処置」 日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨「スポーツと栄養」 日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 アスレティックリハビリテーションの考え方
- 【第3回】 運動療法について
- 【第4回】 物理療法について
- 【第5回】 徒手療法について
- 【第6回】 リスク管理の基礎知識
- 【第7回】 体幹のリハビリテーションプログラミングと実践
- 【第8回】 上肢のリハビリテーションプログラミングと実践
- 【第9回】 下肢のリハビリテーションプログラミングと実践
- 【第10回】 全体を通じてのプログラミングデザインの考え方
- 【第11回】 競技特性を考慮してプログラミングデザインの考え方
- 【第12回】 ATの役割を考えた実習のまとめ 実習を通じてのポイント
- 【第13回】 症例を考える
- 【第14回】 症例報告
- 【第15回】 発表と総評